

石神小だより

8 · 9月号 令和3年8月30日 352-0033 新座市石神1-10-20 Tel 048(477)2152 Fax 048(482)6797

http://www.c-niiza.ed.jp/e-ishigami

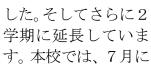
学びの継続

校長 佐久間 幸代

猛暑に雷、豪雨。亜熱帯のような気候かと 思えば、梅雨に逆戻りしたりと、改めて地球 温暖化の深刻さを感じた夏休みでした。感染



症も先の見えにくい 状況です。8月2日から再び緊急事態宣言 下となり、制約の中で の2回目の夏休みで した。そしてさらに2





6年生の林間学校代替行事と5年生の林間学校を実施することができました。ご理解ご協力いただき、ありがとうございました。



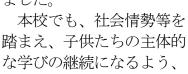
2 学期もできるこ

とを広げながら、子供たちの学びを継続していきます。

(SDG s 3)

1年遅れで開催されたオリンピック。日本 選手の大活躍に、大きな勇気と感動をもら いました。社会情勢を踏まえて、開催に様々 な意見のある中ではありましたが、テレビ には、これまでの成果を発揮しようと、思 いの詰まった競技、演技、インタビューの 様子が映し出されました。

今大会は、感染症はもちろん、様々な課題が新たに明確になり、種目や国によって、その対応も感じられました。





安全安心を最優先に工夫していきたいと思います。

2 学期当初に予定されていた授業参観は、 残念ながら中止、芸術鑑賞教室は延期、学 校運営協議会は書面開催といたします。ご 理解の程、よろしくお願いいたします。 (SDG s 4、17)

(BDG 5 4), 17,

防災・減災の感覚

西日本を中心に、再び豪雨に見舞われた日本列島。「自分の命や大切な人の命を守ること」の難しさを感じました。本校も災害時の避難所となっており、社会情勢を踏まえた避難所 運営について、市役所危機管理課、町内会等関係の皆様と共通理解を図っているところで す。

このような中、本年度本校は、アクサユネスコ減災プログラム助成校となりました。災害の起こる前から復旧に至るまでの避難所の役割とその在り方を研究していきます。感染症対策や1日も早い学校再開のためには、避難所の役割をどのように果たしていくことが大切なのかを、子供たちとともに考えます。また子供たちが、避難所の中で何ができるのか等、地域の中で自分たちにできることを考え、行動することで、地域への愛着とつながりを深め、改めて「自分の命や大切な人の命を守ること」の意義を、1人ひとりの心にしっかりととどめていきます。主担当の主幹教諭が、可能であれば東日本大震災で被害を受けた気仙沼の防災減災の基礎を学んできます。その後、5年生を中心に学びを深めていきます。

(SDG s 1 1)